

ロータリー米山記念奨学事業
クラブ委員長・
カウンセラー研修会

2660地区 米山奨学委員会



米山記念奨学事業の特長

- 日本のロータリーが共同で運営する奨学財団
- 日本で学ぶ外国人留学生を支援
- 世話クラブ・カウンセラー制度による深い交流

奨学事業の目的

なぜ外国人留学生
を
支援するの？

勉学又は研究のために来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する**外国人**に対して奨学金を支給し、よって**ロータリー**の理想とする**国際理解と親善と平和に寄与すること**を目的とする。

奨学事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」
となって国際社会で活躍し、ロータ
リー運動の良き理解者となる人材を
育成すること

成功の鍵は、カウンセラー

カウンセラーの役割

➤ 国際奉仕の最前線 = 「橋渡し役」

⇒ 国際交流と人材育成

⇒ 良い人材を育成することにより、日本中の
ロータリアンが寄付金に託した想いを叶える

⇒ 奨学生にロータリーの精神を伝える

⇒ 会員に外国人留学生支援の意義を伝える

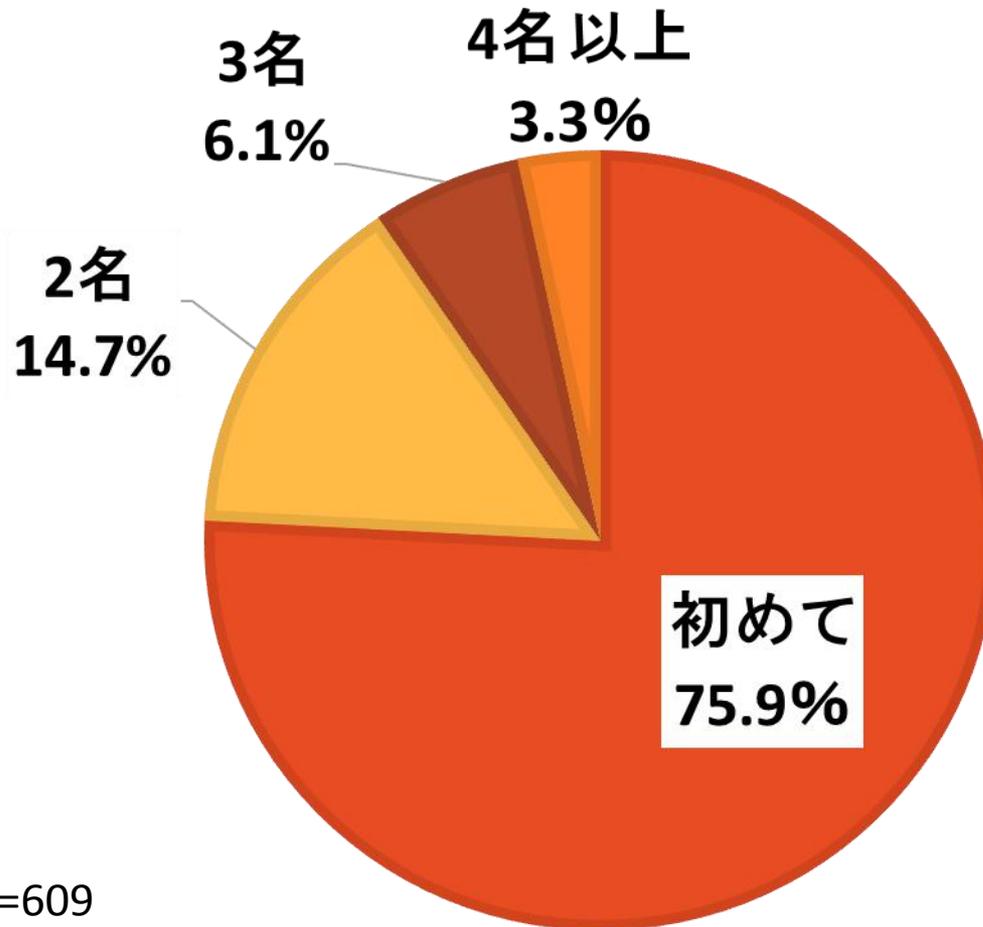
橋渡し役とは？？



- 世話クラブ会員や事務局の方とも交流を
⇒ 奨学生はどんな人？どんな勉強をしているの？
- 学校だけでは経験できない体験を
⇒ 様々な職種の会員、日本文化、地域の産業・文化
- 卓話の作成時にアドバイスを
- 指導教員を例会に招く/卓話を依頼する

同期・先輩カウンセラーとの情報共有を

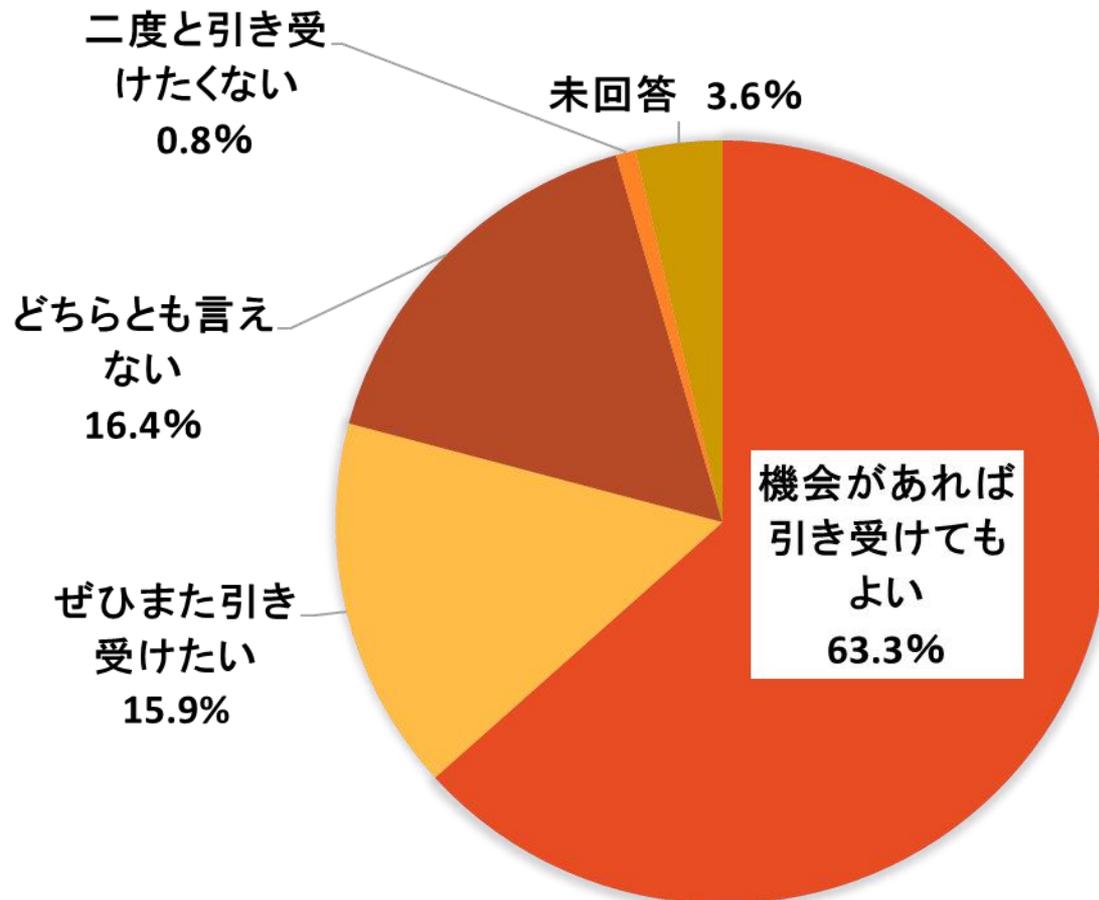
カウンセラー経験



約76%
が初めて

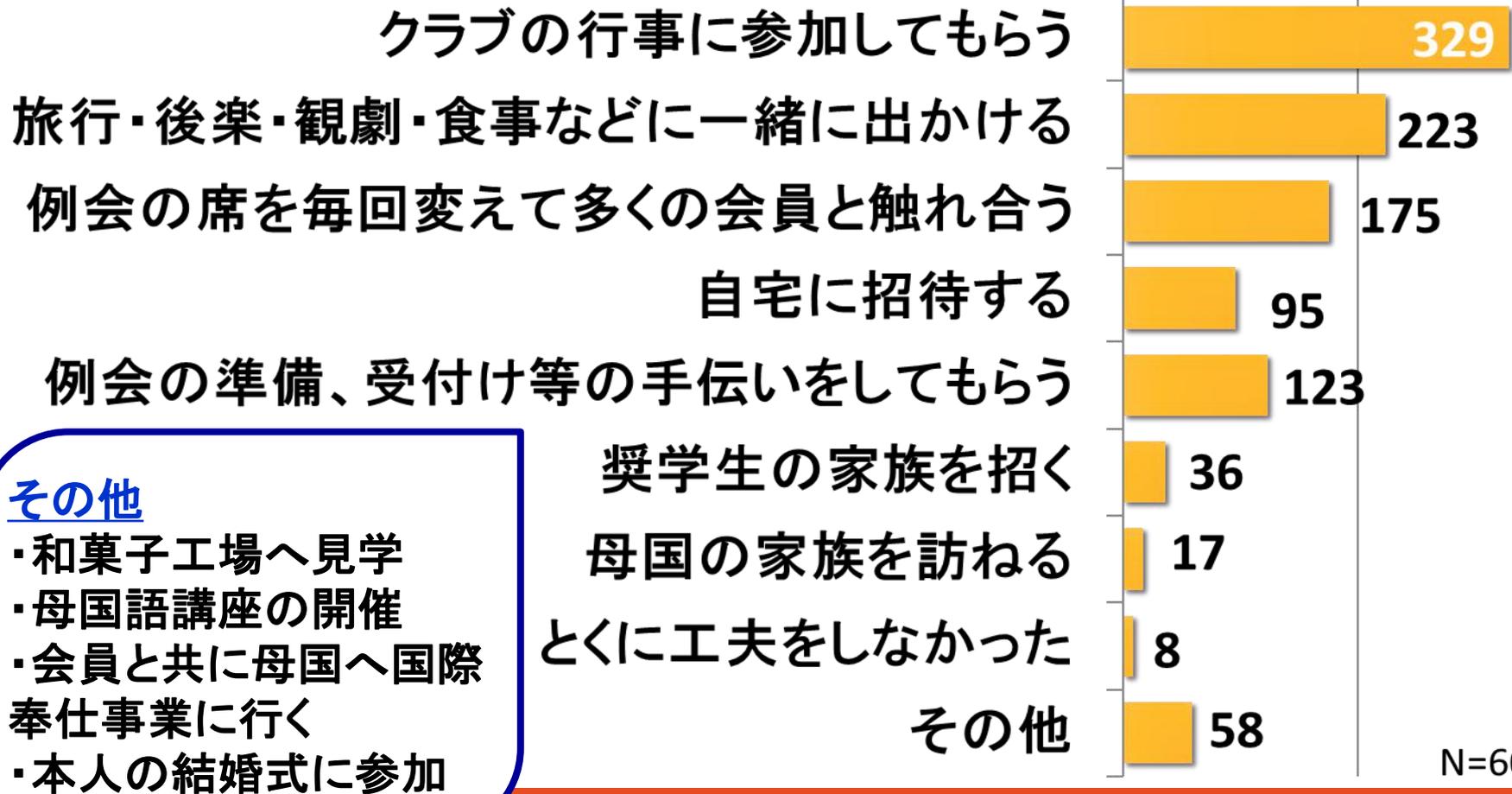
N=609

カウンセラーの感想

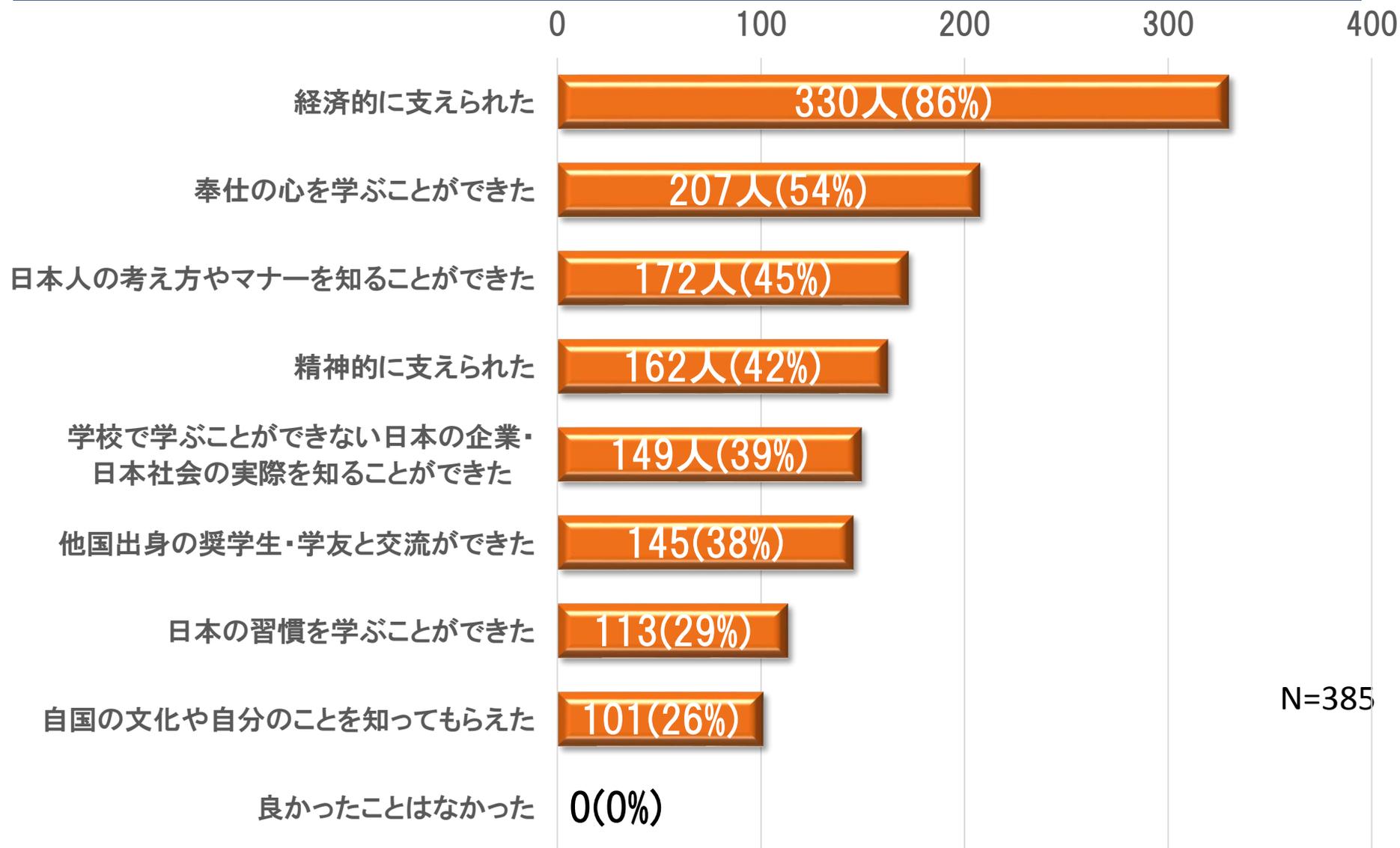


N=609

「交流の工夫」(複数回答)

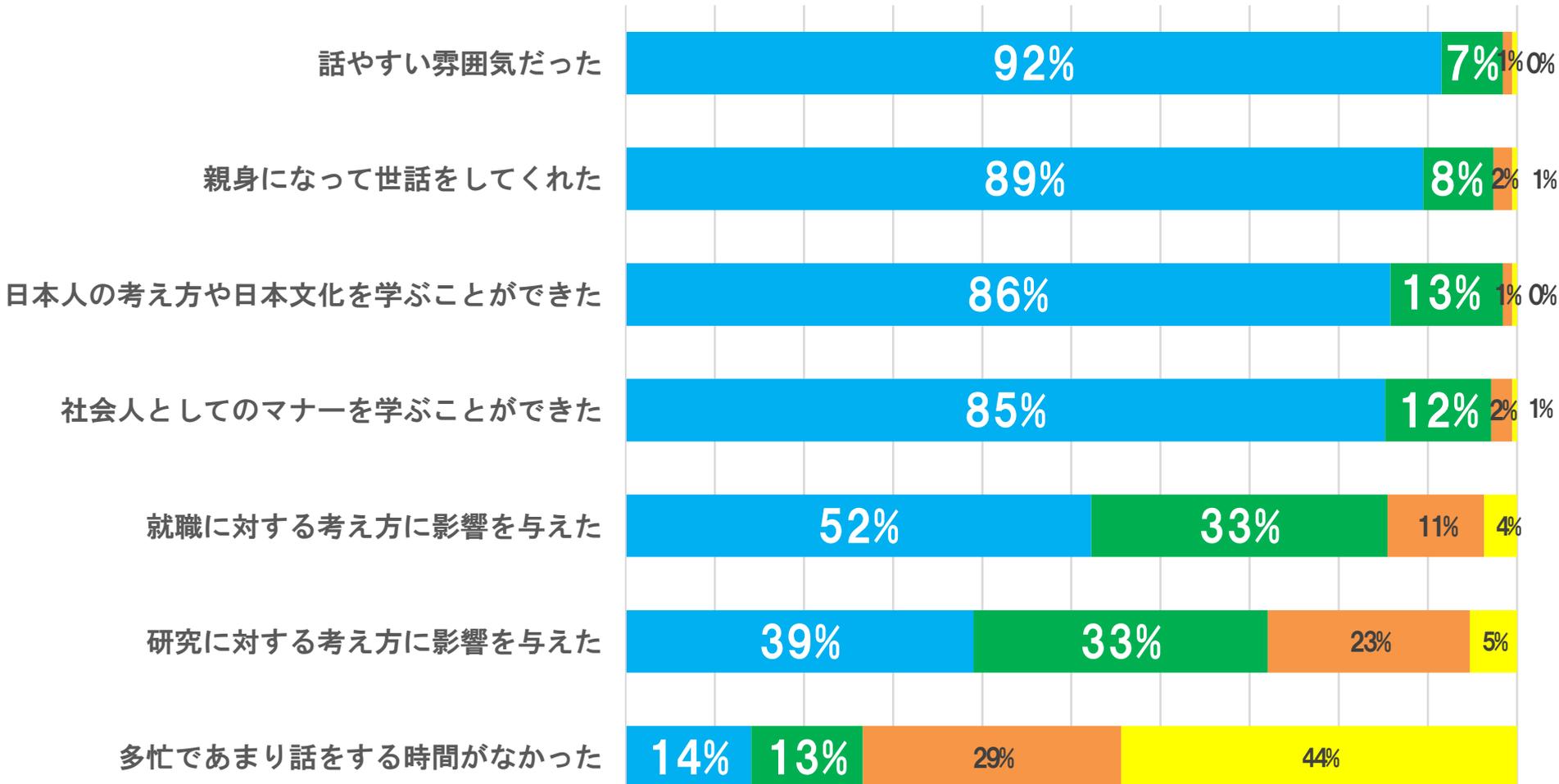


奨学生になって良かったこと



カウンセラーについて

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



N=385

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

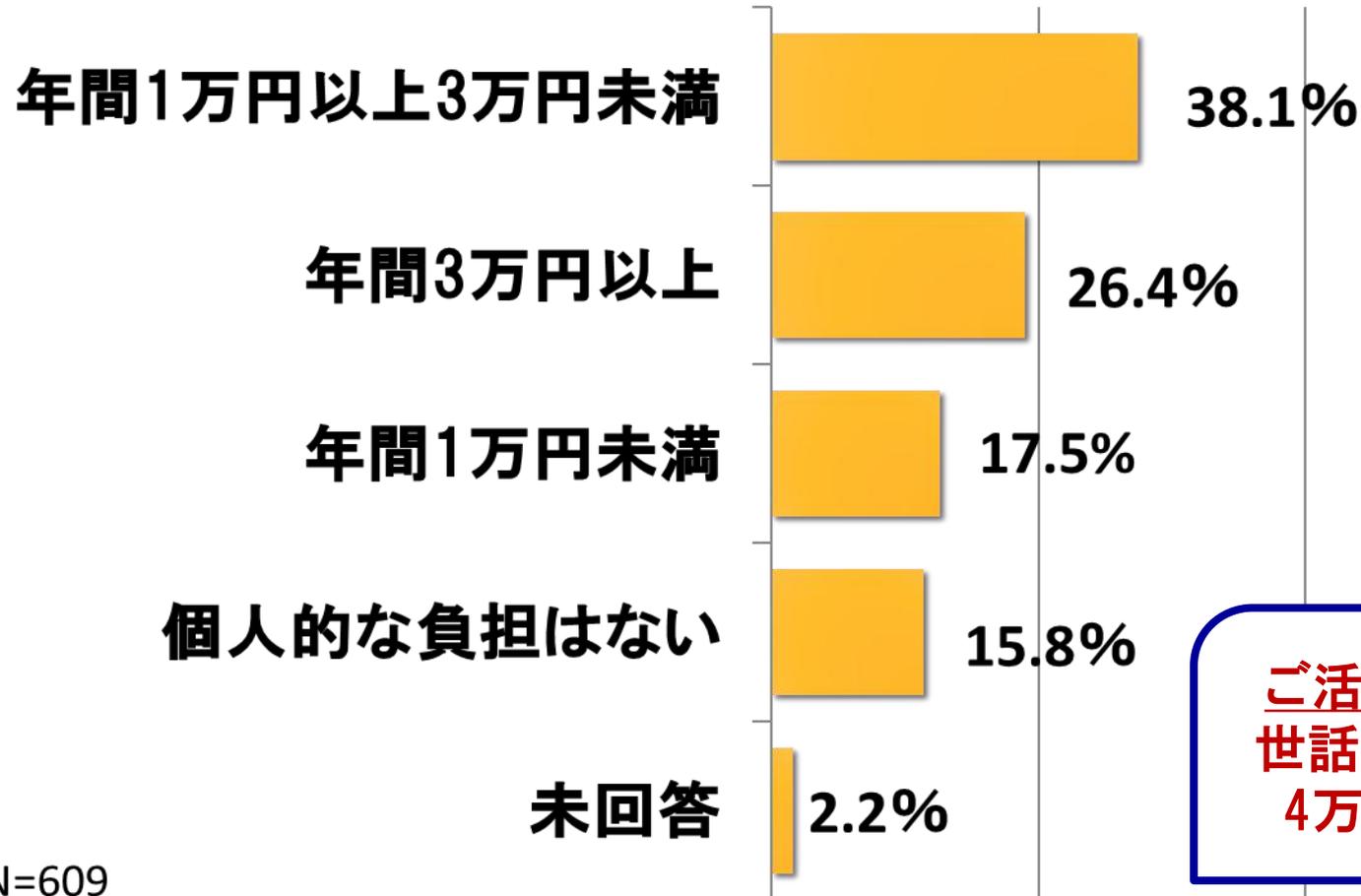
カウンセラーについて(その他の主な意見)

- カウンセラーを通じて、日本人の魅力を感じ、日本のことがさらに好きになった。
- 父、母、家族のような存在。カウンセラーの家族がみんなで応援してくれた。
- 学校のことも相談出来たし、卓話の内容もチェックしてくれて助かった。
- カウンセラー制度に対して、ありがとうを言いたい。
- 例会に行き来する際の、カウンセラーの車の中での会話が、日本人の考えをはじめ多くを学べる場となった。
- 外国に一人暮らしで、当然寂しさや困惑することがあるが、カウンセラーとその奥様と出会い解決した。
- カウンセラーを見て、「ロータリアンになりたい」と思うようになった。
- カウンセラーだけでなく、クラブ会員みなさんが応援してくれた。
- 精神的に辛い時、身体的に辛い時助けてくれた。
- **話す機会が少なかった。偉い方なので、気を使って言いたいことが上手く伝えられない時があった。**
- **ご多忙で例会でお会いすることができませんでした。委員長が世話をしてくれましたが、本来の「カウンセラー」の形とはなりませんでした。**

意見交換してください

- ・奨学生との接し方で難しかったこと
(マナー・態度・距離感・食事・生活習慣・その他)
- ・会員に理解してもらおうのに困ったこと
- ・解決の試み ⇒ 解決した／しなかった
- ・有意義だと感じた交流の工夫例
- ・良い奨学生卓話を作るための指導例
- ・指導教員との交流方法

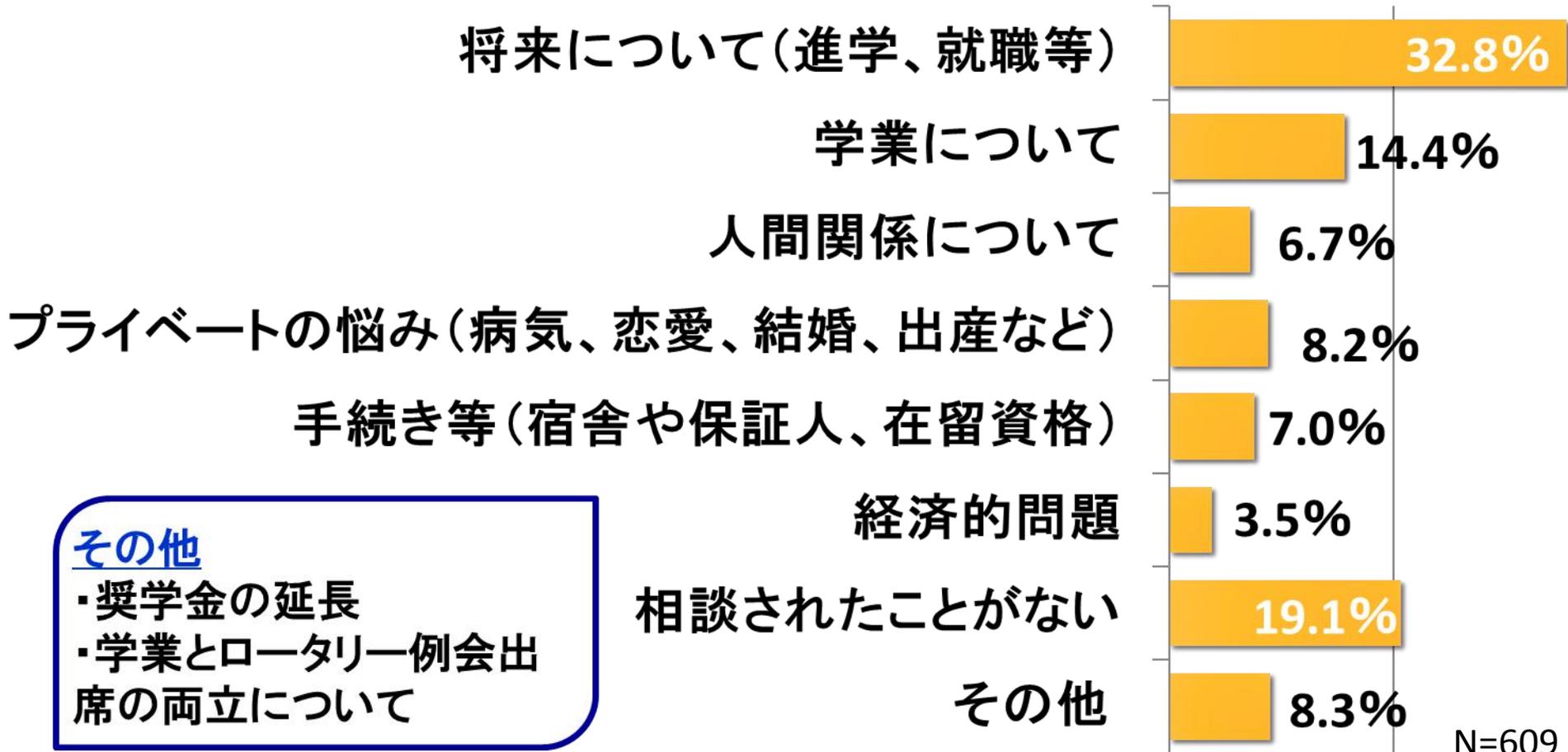
カウンセラーの自己負担



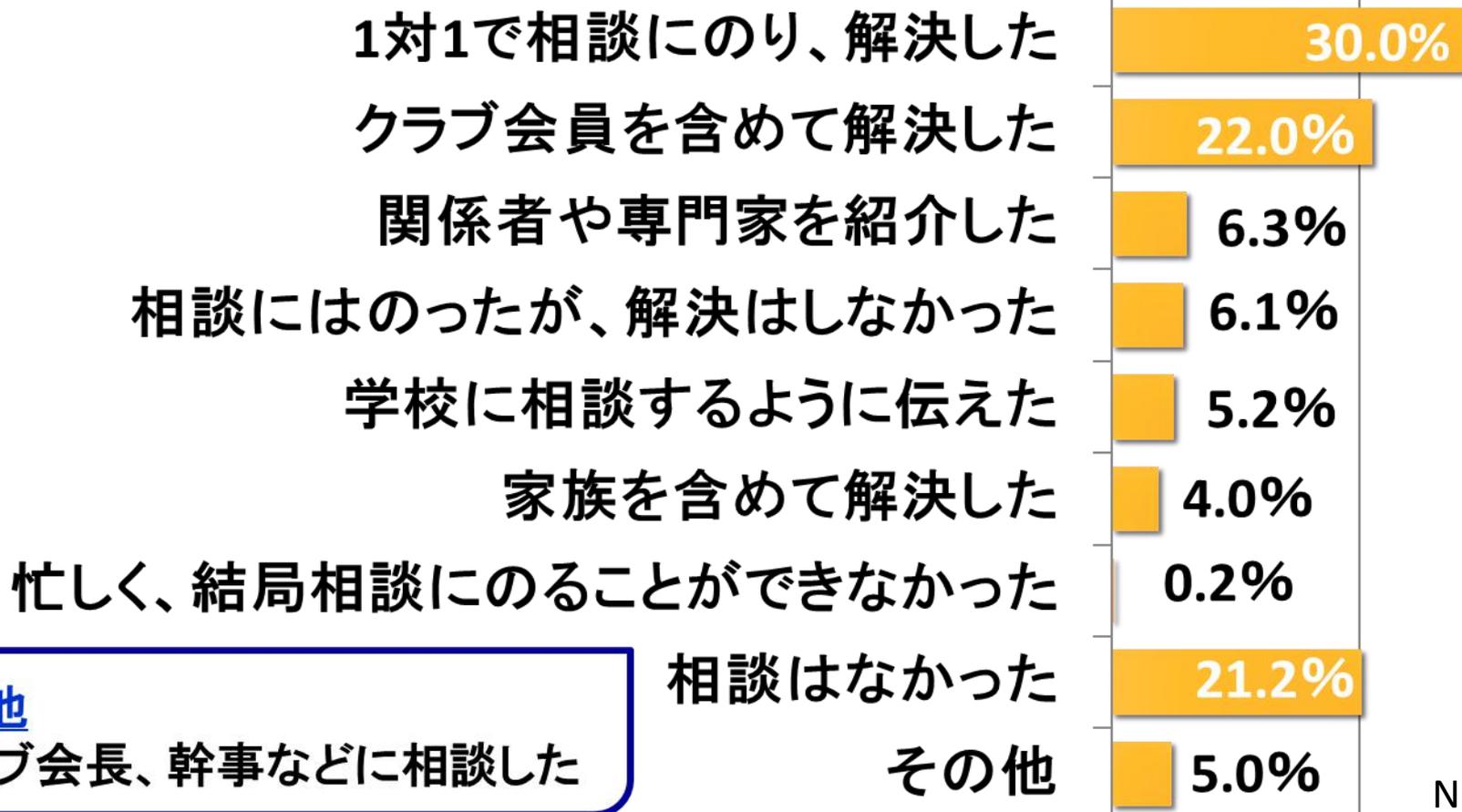
N=609

ご活用ください！
世話クラブ補助費
4万5,000円/年

奨学生からの相談



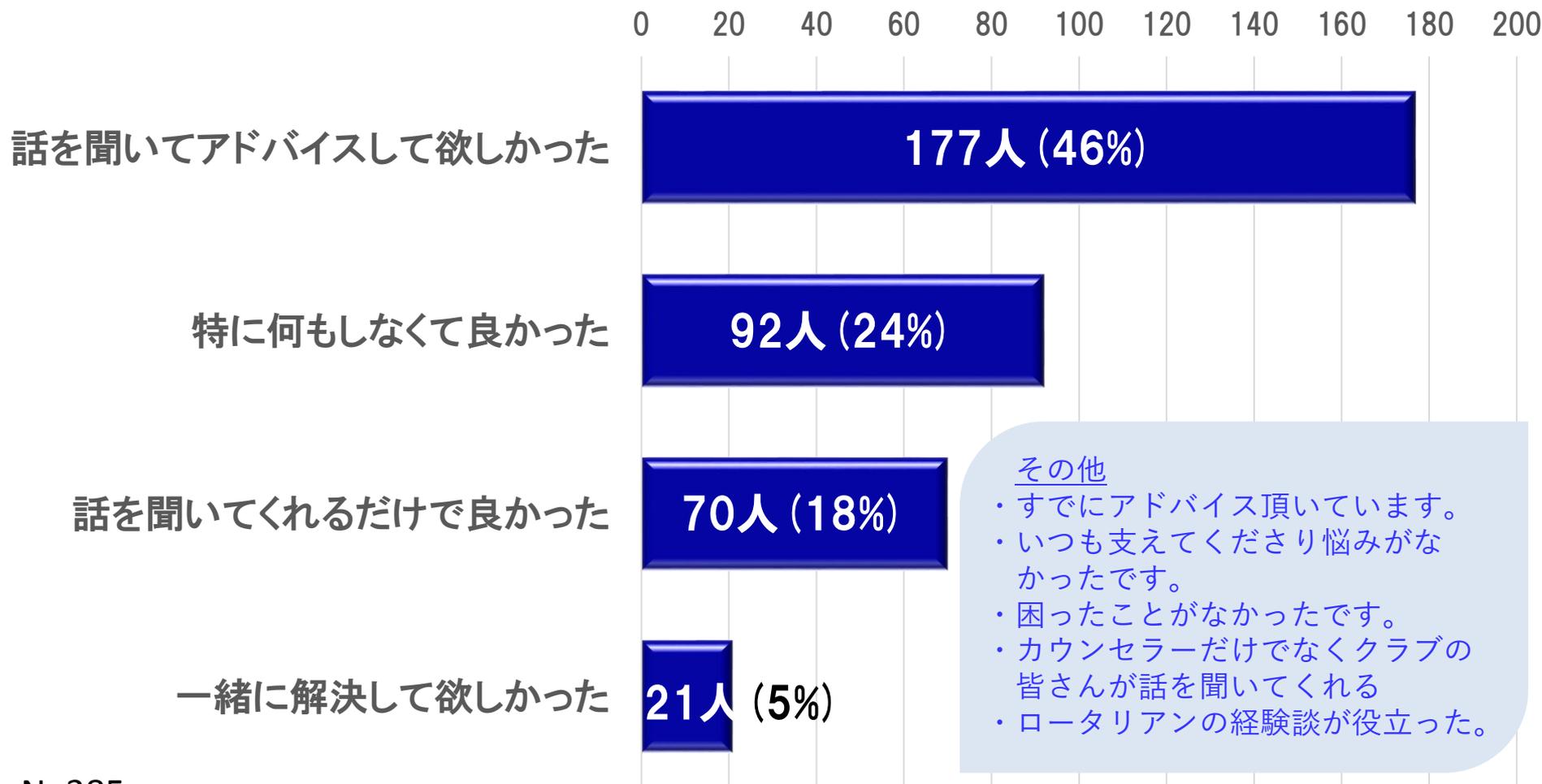
奨学生からの相談への対応



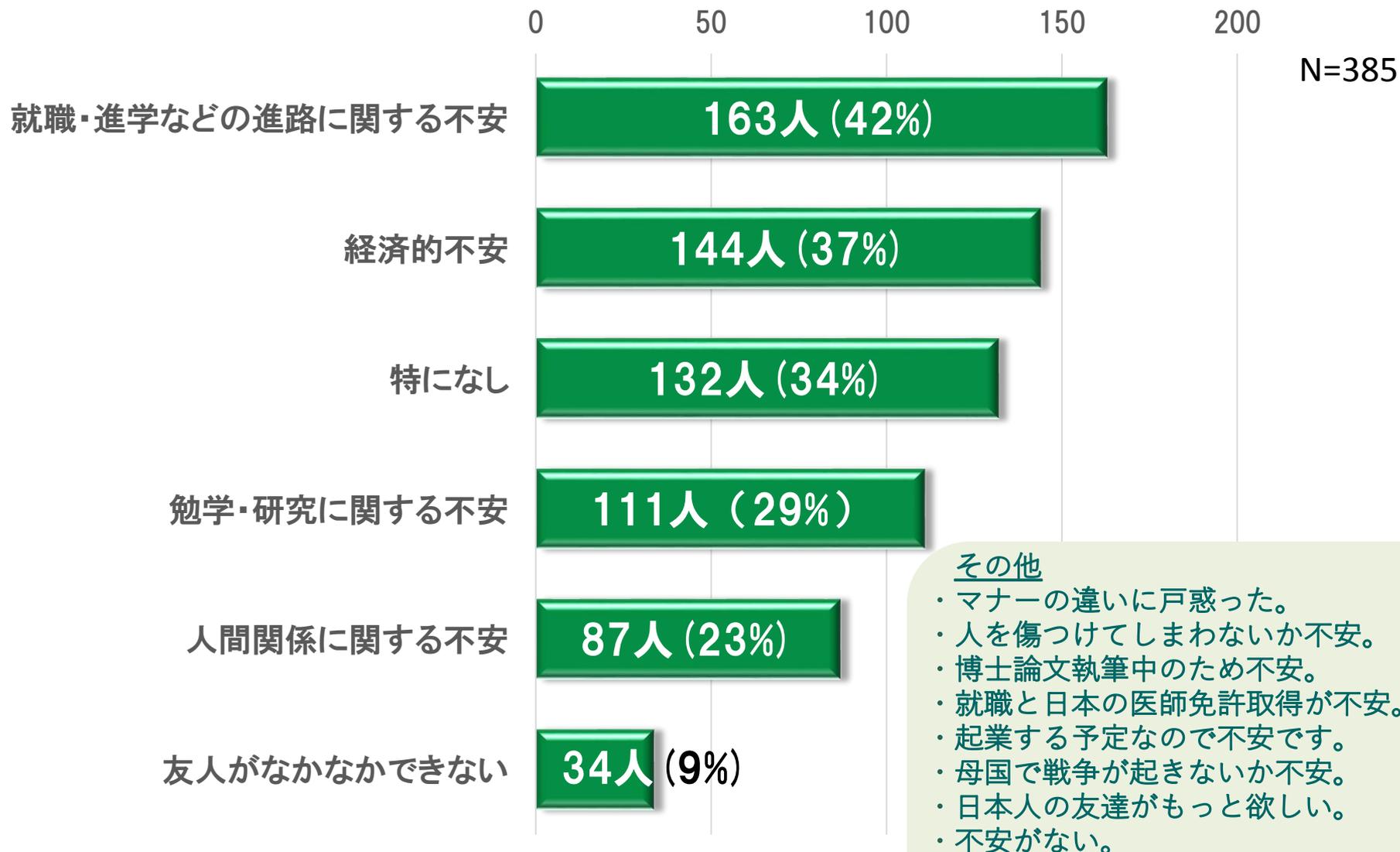
その他

・クラブ会長、幹事などに相談した

留学生活で悩んだとき、クラブや カウンセラーにどのようにして欲しかったか



日本の生活で不安を感じたこと

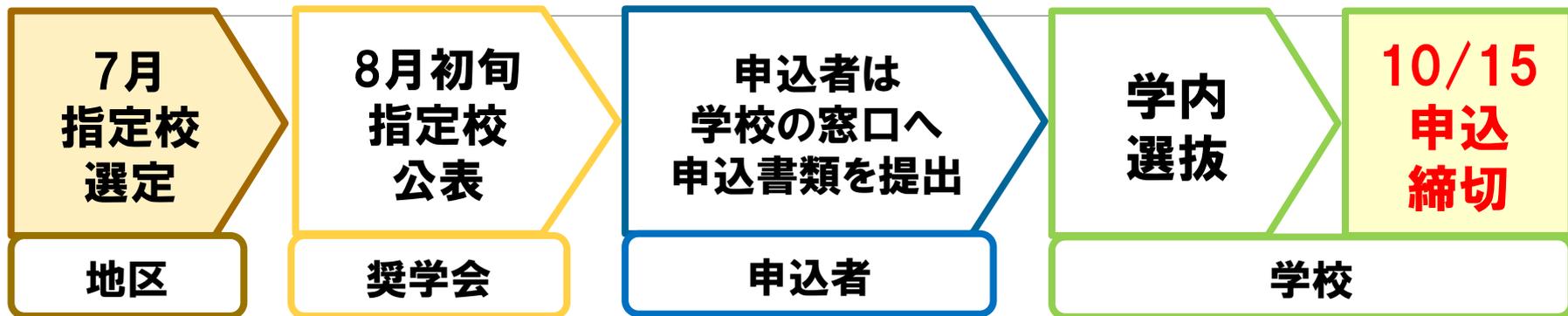


意見交換してください

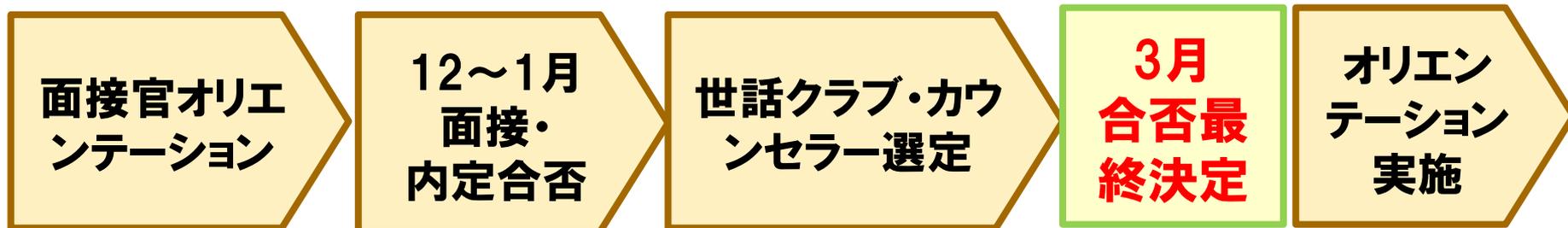
- ・奨学生からの相談で困ったこと
- ・出欠、卓話、提出物で困ったこと
- ・カウンセラーとして負担に感じたこと
- ・解決の試み ⇒ 解決した／しなかった
- ・お世話して良かったと思うこと
- ・奨学期間終了後の音信不通を防ぐ工夫

奨学生選考の流れ

「地区選考の目安」を提示
学校説明会／訪問の実施



- 地区選考委員会が指定校と募集人数を決める
- 申込書類は、申込者が“日本語、自筆で手書き”する
- 指定校担当者は、とりまとめて専用WEB画面で申込登録をする



評価項目：全地区統一の選考基準

書類

申込書：書類から伺える人柄

指導教員の推薦状：推薦の意義や熱意

研究計画書：研究の貢献度や社会に与える影響

小論文：留学目的・熱意・将来性

面接

①日本留学の目的と明確な研究課題、将来目標

②交流と親善への熱意、ロータリーへの関心度

③人柄

④コミュニケーション能力 ≠ 日本語力

⑤地区裁量の選考基準 = 地区選考の目安

米山奨学生の義務

奨学生の義務は
合格後オリエンテーション
で説明されます

4月～5月
オリエンテーション出席
確約書に署名

世話クラブ例会出席
・奨学金の受領
・毎月1回以上の出席

**世話クラブや地区の
行事へ参加
スピーチ**



2月～3月
期間終了式 参加



奨学生は、採用地区
に所属し、世話クラブ
例会を中心に交流に
努めます

9月・2月
奨学生レポート提出

・休学や出国には届
が必要
・休学・出国期間に
制限あり

出国時は事前WEB申請が必須

奨学生が出国するときは、**事前WEB申請が必須**です。必ず行うようご指導ください。

- 年間60日まで出国可能。やむを得ず超える時は、指導教員の許可を得る所定書式の提出＋WEB申請によってプラス30日までの出国が可能。
- なるべく地区行事と重ならない日程にする。

奨学生が専用画面で申請登録すると世話クラブ・地区ガバナー事務所・地区米山委員長あてに登録内容【出国日程・行先など】がメール配信されます。

カウンセラーハンドブック

P.15 Q11

奨学生ハンドブック

P.12

奨学生の保険について

- ◆ 2020学年度奨学生から奨学会が加入
- ◆ 1年更新(4月～翌年3月)
- ◆ 補償対象：
 - 例会時間(活動時間3時間を想定)
 - 往復途上の傷害、疾病
 - 疾病は限定対象：細菌性食中毒・熱中症、脱水症、低体温症

奨学生の個人情報に関する取り扱い

こんなことにご注意ください！

【カウンセラー・ハンドブック6ページ、29ページ】

奨学生のレポートや手紙、スピーチ内容に感動・・・週報や月信、ホームページ、FacebookなどSNSに掲載したい！

- ▶ 必ず本人の了承を得てください。顔写真や研究内容を掲載する時は、特に注意してください。

確約書で了承を得ていないが、出身地、性別、学校や顔写真などを掲載した名簿を作りたい！

- ▶ 必ず本人の了承を得て作成してください。

ハラスメントの認識

相手が不快と思ったらハラスメント
「そんなつもりはない」は通じません

RIの方針: Zero Tolerance / 容認なし

⇒相手を尊重し、異文化理解の姿勢

⇒何が該当するのか“認識”が防止策

⇒日本、そしてロータリーへの理解者を育てる

ハラスメントの認識

➤セクハラ:セクシャルハラスメント

- 飲んだ席で思わず、、、お酒が入るとどうしても、、、
- 写真撮影で肩を抱き寄せる、会うとハグをする
- 懇親会で夜の遅い時間まで引き止める
- かわいい、足がきれい等と容姿のみほめる など

⇒信頼関係なく奨学生と二人きりにならない

⇒お酒を無理に勧めない、酔って奨学生と接しない

⇒ロータリアンとして品位ある言動を

ハラスメントの認識

➤ **パワハラ: パワーハラスメント**

- **お金を出してやっているのだからという高圧的な接し方は大きく誤解や不信を招きます**
- **国家間の政治問題は、信頼関係ができてから語り合えば一方的な主張になりません**

⇒信頼関係なく奨学生と二人きりにならない

⇒不安や恐怖心を与える言動や状況に注意を

⇒ロータリアンとして品位ある言動を

危機管理：震災など

➤ 日頃から予防を意識

➤ 被害を最小限にする

➤ 発生後の安全管理・不安の解消

⇒ 複数の連絡先(携帯、SNS、LINEなど)を交換

⇒ 日頃から奨学生が相談しやすい関係作り

奨学生：学校の避難経路や緊急連絡先を確認

奨学生：自国の在外公館の場所・連絡先を確認

当地区の危機管理手順

**災害・事故・ハラスメントにおける
地区方針や、発生から収束までの
処理手順を確認してください**

後半の講演にてご説明いたします。

奨学期間終了後も交流を！

- ◆ 終了後もクラブ行事に招いたり、週報を送るなどして連絡が途絶えないようにしてください

終了後も複数の連絡先を交換しておいてください

- ◆ 学友になっても最新の連絡先を登録するようご指導ください。
⇒学友が奨学会ホームページの専用画面で登録します
- ◆ 奨学生終了後も、博士号を取得したら世話クラブ宛てに記念品が贈られます。



引き続き、
奨学生のサポートを
お願い致します

